

心理学総合演習Ⅱ

選択 2単位

藤尾 未由希

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、社会・情動の発達の定型性とその非定型性、およびさまざまな障害を扱うことで、人と環境との相互作用および障害について理解を深める。また、心理学的な問題の予防、支援、環境整備などのあり方について、基礎的な知識を学び、専門用語を用いて説明できるようになることを目指す。エビデンスベースドな支援を実施するために、先行研究の知見を必ず参照する姿勢を身につける。

2. 授業の到達目標

- ①発達心理学・障害者心理学に関する専門的な知識を説明することができる。
- ②発達心理学・障害者心理学に関する研究を批判的に検討することができる。
- ③専門的知識を臨床場面でどのように応用できるか論じることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①専門的知識の習得状況を知るための試験(50%)
- ②該当分野の研究に関する批判的検討力を調べるためのプレゼンテーション(25%)
- ③専門的知識を現実場面でのどのように応用できるかについての議論への貢献(25%)

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは利用しない。参考図書や参考論文は授業内で随時紹介する。

5. 準備学修の内容

- ・発表担当者は、パワーポイントで作成した資料を用いて、他の履修者が内容をよく理解できるように、また、他の履修者からの質問や意見に対応できるように、事前に十分な準備をしておく。
- ・発表担当者以外は、各授業回のテーマに沿って関連する文献を調べ、質問や意見を用意しておく。
- ・資料を復習し、発達心理学および障害者心理学に関する専門用語を適切に使えるようにする。

6. その他履修上の注意事項

- ・資料配布および課題提出には、帝京大学のLMSまたはWeb File Serverを利用する予定である。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(授業の方針を説明し、各授業回の担当を割り当てる)
- 【第2回】 認知機能の発達とアセスメント
- 【第3回】 社会・情動発達の基礎
- 【第4回】 情動の役割と発達
- 【第5回】 社会性の発達と集団参加
- 【第6回】 乳幼児の心理と共同注意
- 【第7回】 高齢者の心理と認知症
- 【第8回】 自己の発達
- 【第9回】 誕生から死に至るまでの生涯における発達と各発達段階での特徴・課題
- 【第10回】 中間まとめ・質疑応答(オンライン)
- 【第11回】 発達障害に関する基礎知識および考え方①(自閉スペクトラム症)
- 【第12回】 発達障害に関する基礎知識および考え方②(ADHD・学習障害など)
- 【第13回】 精神障害に関する基礎知識および考え方
- 【第14回】 身体障害に関する基礎知識および考え方
- 【第15回】 試験・試験解説